

高齢者施設を訪問「交流音楽会」

教育課程上の位置付 部活動(音楽部)

実施概要

施設との交流は、今回の活動が初めてです。始めに、音楽部長の挨拶の後、生徒が利用者にプログラムを手渡しました。最初の曲「花は咲く」は、生徒が合唱し、次の「もみじ」はイントロ当てクイズをし、その後に利用者と一緒に歌い、「ふるさと」も一緒に歌いました。「赤とんぼ」は、生徒が独唱し、「世界に一つだけの花」は生徒がタンバリン、利用者は鈴で演奏しながら歌い、最後は「365日の紙飛行機」を生徒が合唱して、活動を終了しました。

- 活動参加者** 当校 生徒…8人 担当教員…5人
- 内訳** 交流先 利用者…31人 担当職員…8人
- 交通手段** 当校と飛鳥晴山苑との距離はおおよそ2.3km
電車と徒歩で訪問 約30分



施設の利用者の前に音楽部が整列する

活動報告 実施日：11月9日(木)

生徒が施設1階ホールに入ると、利用者が中央の通路を挟んで左右に4人ずつ縦に4列で車いすに座って並んで、中央の通路を通る生徒たちを拍手で出迎えました。生徒は、緊張した面持ちで利用者の正面に横一列に並ぶと、まず音楽部長が挨拶を行い、その後利用者全員に生徒たちが当日のプログラムを手渡しました。

そして、最初の曲「花は咲く」を生徒が合唱すると緊張もほぐれ、次の「もみじ」の歌のイントロ当てクイズでは利用者が曲名をあてると喜ぶ姿が見られました。その後も一緒に合唱し、次の曲「ふるさと」も元気な声で利用者と一緒に合唱していました。「赤とんぼ」では生徒が独唱し、利用者は声量ある大きな声に驚き感心していました。「世界に一つだけの花」では、生徒2人がタンバリンを使い、利用者には鈴を渡して、一緒に演奏しながら合唱しました。最後の曲「365日の紙飛行機」を生徒が合唱してホールを退場すると、拍手をしながら名残惜しそうに生徒たちを見送る利用者の姿がありました。

当日のスケジュール

- 13:30 学校、施設、SSC3者事前打合せ
(1階職員室：打合せ終了後生徒控室)
生徒、施設到着→控室(1階職員室に待機)
- 13:40 生徒入場・部長挨拶
- 14:00 プログラム配布
- 14:05 「花は咲く」(合唱)
- 14:10 「もみじ」(イントロ当てクイズ)
- 14:15 「ふるさと」(合唱)
- 14:17 「赤とんぼ」(生徒の独唱)
- 14:20 「世界に一つだけの花」(タンバリンと鈴による合奏)
- 14:25 「365日の紙飛行機」(合唱)
- 14:30 終わりの挨拶 生徒退場
- 14:40 引率教員と生徒は学校へ向けて出発

■活動のために準備したもの

- 配付用プログラム(生徒のイラスト、手書きの絵を入れたもの)
- 司会原稿(生徒作成)
- 歌詞カード(掲示用)

■工夫したところ

- 季節の歌やなじみの深い曲を選曲しました。
- 施設の方々にも楽しめるように曲に手話を取り入れたり、鈴でリズムを入れるようにしました。
- 配布用プログラムや鈴を生徒から手渡しました。

■実施にあたって注意したところ

- 活動時間や内容等が、施設の方々の体調面等の負担にならないようにしました。
- 生徒が取り組みやすい曲にし、当日まで練習回数を増やしました。

■良かったと思うところ

- 音楽部として歌を発表する機会ができました。
- 当日は施設の方々に温かく迎え入れていただき、緊張していた生徒も緊張もほぐれ、歌うことができました。
- 施設の方々がほとんどの曲を知っていて一緒に歌ってくださり涙を流している方もいて、感動した。とても盛り上がりました。

■今後に向けての学校からの抱負

- 施設とは今回で終わりではなく、今後も継続して行けるように、学校として「生徒が人の役に立つ」経験をつませたいと思います。
- 来年は、農園芸班で育てた花を季節に応じて届けることもできると考えています。

当校は、高等部単独の知的障害特別支援学校で、平成31年度には当校と隣接する都立王子第二特別支援学校と統合されることになっています。社会貢献活動は、昨年度1年生が近隣の町内会の老人会とカローリングを行いました。また、今年度作業班では、2年生が近隣の小学校の農園の作業を手伝い、3年生はシルバー団体と一緒に中央公園の清掃活動を行いました。

活動の感想

生徒・教員の感想

- 生徒**
- みなさんの前で上手に歌を歌えて楽しかったです。
 - とても緊張しましたが、一生懸命に歌を歌いました。
 - 歌を歌ってみなさんから拍手をもらってうれしかったです。
 - みなさんが喜んでくれて、うれしかったです。

- 教員**
- 当日は、生徒たちも緊張していましたが、手作りのプログラムを生徒一人一人から利用者の方々に配布している間に「ありがとう」「頑張ってる」の声援をいただき、緊張もほぐれ、選曲した6曲をしっかりと歌うことができました。利用者の方々も一緒になって歌ってくださり、たくさんの拍手をいただいたことで、生徒たちも音楽部の普段行っている楽器演奏中心の活動ではなく、伸び伸びと歌を披露することもできるという新たな一面が見られました。

施設の参加利用者・担当者の感想

- 利用者**
- 皆さんの素晴らしい演奏と上手な歌を聴かせていただき、すごく感謝しています。ありがとうございました。これからも一生懸命に頑張ってください。
 - 私は、小学生時代から自分で歌ったり、ピアノを引いたりしていました。音楽が大好きだから、うれしかったです。
 - 明るくて、元気でいいですね。私も歌が大好きだから、楽しかったです。
 - 今日は、楽しかったです。歌は大好きです。私は三味線をやっていたから、鈴も楽しかったです。

- 生活相談員**
- 最初の歌が始まると同時に、王子特別支援学校の生徒さんが、飛鳥晴山苑の利用者さんの為に歌を選び、たくさんの練習をしてきてくださったことが、すぐに理解できました。誰かの為に自分ができることをする、ボランティアの心そのままに、身体全体で歌う姿に、声に、利用者さんも引き込まれたように歌を口ずさんでいました。利用者さんにとっては孫と同じ年頃の生徒さんとの交流で元気をもらっていたようでした。

■実施までの経過 ※ (コ)：コーディネーター

- 8月10日 (コ)、当校の副校長、主幹教諭と打合せ。施設の利用者の招待を希望
施設の生活相談員、協力を快諾
- 9月6日 (コ)、主幹教諭と施設を訪問。施設長、ケースワーカー長、生活相談員に趣旨を再度説明。施設長賛同、快諾
会場となる1階ホール、打合せ会場等を確認
- 10月16日 主幹教諭と施設の生活相談員が電話でプログラムの詳細の打合せ



生徒の歌声に合わせて、利用者也鈴を鳴らす



利用者のうなづく姿を見て、歌声に熱がこもる

交流先



医療法人社団・社会福祉法人晴山会 特別養護老人ホーム **飛鳥晴山苑**

住所：東京都北区西ヶ原4-51-1

■施設概要

- 特別養護老人ホーム 入所定員152名
ショートステイ 定員20名
デイサービス(標準型：定員40名・認知症対応型：定員12名・リハビリ特化型：定員午前20名/午後20名)
● 居宅介護支援事業 ● 地域包括支援センター ● 訪問看護ステーション